



岡山高等学院では『ドコモ市民活動団体助成事業』からの助成金により10月13日-14日の秋季親子キャンプを開催しました。今回はその様子をお伝えします。

今回は岡山県美作市での開催となりました。多くの自然に囲まれて参加してくれた子ども達も元気いっぱいです！

1日目は、滋慶学園高校美作キャンパスの教室をお借りして、染色体験をしました。講師には美作の染色の先生に来ていただき、皆で染色にチャレンジしました。初めて染色をする子が多い中、それぞれが素敵なハンカチを作っていて子ども達の創作力に感心しました。その後、宿泊施設である武蔵の里に移動し、夕食をいただいた後、ゲーム等のレクリエーションをして1日目は終了しました。

2日目は、さくとう山の学校で、木工のフォトフレーム作りとピザ作り体験をしました。ピザ作りでは生地伸ばし、盛り付け、窯焼きを体験させてもらい、子ども達も思い思いのピザを作って楽しんでいました。自分達で焼いたピザは特別に美味しく、つついおかわりしてしまいました。

この後、皆で山の上にある展望台に登り記念撮影。2日間の親子キャンプは終了となりました。今回は初対面だった子達が、活動を通して仲良くなり、2日目には一緒に遊びまわっている姿を見れたのが、何より嬉しかったです～！参加してくれた親子、生徒、ボランティアの皆さんお疲れ様でした！

海で、山で自分らしくいられる時間も体験してみませんか。焦らず、自分のペース楽しんでいきましょう。

私は今回、一泊二日の親子キャンプに初めて、ボランティアとして参加しました。染色体験では、どのような模様になるのか楽しみにしながらハンカチを染めていきました。思った通りの模様ができた、と喜びもあれば、思いがけずかわいい模様になったという声も聞くことができました。また、ピザ作りでは、自分たちで野菜をカットした後、生地を伸ばし、窯で焼いていきました。染色体験であっても、ピザ作りであっても、同じ材料を使っているのにできるものは一人ひとり異なった特徴、良さがあると感じました。そして、ボランティアとして参加者の方々を見ると、年齢や性格、境遇などが異なっているにも関わらず、そのような違いは関係なく話したり、遊んでいる場面を目にすることができました。

未来塾、ボランティアとして親子キャンプに同行して、一緒にあそぶというものでした。岡山高等学院に通っている子たちとキャンプをするのかと思っていたのですが、実際に行ってみると、中学生や小学生、それより小さい子たちとキャンプをするということが分かって、私は教育学部ではない、小さい子たちとどうやってあそべばいいんだろうと不安になりましたが、キャンプの中でいろいろな体験をしているうちに「あそんであげる」という体制ではなく、自然体な感じでしたら、子どもたちから話しかけてくれるということが分かりました。たいてい、何の役にも立たなかったことを申し訳なく思いますが、子どもたちにとっていいキャンプになってくれたら幸いです。

ボランティア参加者より



何度が、親子キャンプに行かせてもらっていて、今回も楽しく参加できました。1年前、初めて参加したときは、はずかしがってはじめてから参加できなかったのが、今回は、はずかしがりながらも、はじめてから参加でき、成長を感じることができた。少しずつ、自ら参加しようとする姿も見られており、やる気が感じられた。染め物や、木工、ピザ作りは、親も楽しむことができるため、親も充実した日になった。また、参加する機会があれば、参加したいと思う。(母も子も同じ意見です)

染色体験は同じ材料でも作ったグループによって色の出かたが違い親も楽しかったです。夜のレクリエーションやみんなでいただいた夕食もいろいろな方と話ができて楽しかったです。子どももすぐに仲良くなり見ていてほっとしました。参加者のお兄ちゃんと一緒に風呂に入ってもらい助かり、親がいなくても何とかかなと思えました。二日目は途中までしか居られませんでした。山の自然の中でとても良い体験ができてとても楽しかったです。また参加できると良いです。

